

貞山運河再生・復興ビジョン

基本方針

人と自然と歴史が調和した、人々が集う魅力的な沿岸地域の復興

自然災害に対して粘り強い、安全・安心な沿岸地域の再生

【4つの基本目標】

- ① 地域にとって誇りある歴史的な運河群としての再生
- ② 自然災害に対して粘り強く強靱な沿岸地域の構築
- ③ 自然環境と調和し共生できる、運河周辺環境の保全・再生の推進
- ④ 継続的な地域間の連携と、未来に向けて発展できる社会環境の構築

10の主要施策と推進体制

【基本目標1】

- 運河群にふさわしい景観の復元・創出
- 運河群と調和したまちづくりや施設整備の展開
- 歴史的な遺構の保全と復元

【基本目標2】

- 計画を超える災害に対して粘り強い地域社会の構築
- 多重防御による総合的な防災力の強化

推進体制

【基本目標3】

- 自然と共生したまちづくりや施設整備の展開
- 運河群にふさわしい水質への改善

【基本目標4】

- 沿岸地域の利活用発展を支える交通ネットワークの整備
- 未来に向けて発展できる社会環境の構築
- 国内外との“絆”の強化と、“共感と参加”の拡大

貞山運河再生・復興推進会議

【期別の目標】

- 短期：被災した運河群および沿岸地域の一日も早い復旧，復興理念の共有化と参加
- 中期：運河群および沿岸地域における“集いの場”の再生と，広域的な連携の拡大
- 長期：運河群の歴史を未来へと繋ぐ，100年先を見据えたビジョンの発展

貞山運河の再生と復興に向けた取組み状況 平成29年8月現在

宮城県

～貞山運河とは～
貞山運河(木曳堀、新堀、御船入堀)、東名運河、北上運河は、全長約49kmにわたり仙台湾沿岸を繋ぐ、日本一の運河群です。
古くは舟運を目的として、約400年前、仙台藩主伊達政宗の命により建設が始まったとされる運河です。

シンボルツリーを植樹

歴史ある第1代御船石門(船橋)に、高麗松を植樹した様子。地元の方々とご協力のもと、平成28年5月に植樹。

NPOによるカヌー体験

NPO法人によるカヌー体験を定期的に開催しており、市内にもとり、盛り上がり、子供から大人まで幅広い方が参加し、運河を活用している。

明治期の釜開門跡が出土

釜開門の災害復旧事業において、工事に着手したところ、明治期に造られた木製釜開門の遺構が出土。有識者からの意見をいただきながら、遺構の保存等を実施。

覆土の実施

自然環境(水際の植生回復)や景観への配慮し覆土を実施。

稲井石での復旧

東松島市で計画している「運河公園」や「農業遺構」の施設整備を踏まえ、復旧の稲井石での復旧を実施。

桜植樹会を開催

東日本大震災からの復興の象徴、津波防災意識の継承を目的として、運河沿いの貞山公園に桜植樹会を実施。(平成28年3月)

サイクリングロードの復旧

運河遺跡は震災前からサイクリングロードとして活用されており、復旧後もサイクリングロードとして活用。

かわまちづくりとの連携

各取市陸上地区において、運河も含めた「かわまちづくり」の検討が進められている。陸上地区と運河を結ぶ「かわまちづくり」の取組を計画。

野蒜築港跡橋台の保全

橋台跡にかけられないよう、堤防位置を決定し、橋台(土留)の保全を実施。

既存石積み崖岸の復元

多賀城市の歴史的風致維持向上計画に位置づけられている、中の島(赤松)の長根運河を、粘り強い堤防構造を構築しつつ、既存石積み崖岸を復元。

仙台市海岸公園との連携

海岸公園復興基本計画(仙台市)より

既存松並木の保全

貞山運河を代表する美しい松並木を保全するため、堤防構造の変更。

運河や河川の復旧状況は宮城県河川HPでご覧いただけます。

宮城県 河川課